

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

## 2011-2012年度 テーマ

### 相互の理解と 地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長  
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 8月31日 会員ミニ卓話  
9月7日 会員卓話

VOL. 49 No.7(通算No. 2288)

2011年8月24(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

オーストラリア派遣学生帰国挨拶



「ハイビスカス」

写真提供:石塚幸一郎会員

2011-2012年度

会長 大塚 令昌

幹事 斎藤 広巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax.0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

## 8月は会員増強および拡大月間です

### THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.6 (No.2287) 8月10日(水)晴れ (司会 熊谷 昇副委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆会員ミニ卓話

## 諸 報 告

国際奉仕委員会 二本松恭行委員長

8月7日(日)に水海道ロータリー事務所駐車場から 15:30 に成田へ出発。

大塚会長、斎藤幹事、亀崎会員、北村会員、登坂会員、松崎会員と奥様、交換学生4名とそのご家族を含め、計14名で成田へと出発しました。

機内食まで時間があるため、搭乗する4人には軽食を食べてもらい 20:25 発ジェットスター航空 JQ12 便、ゴールドコーストへと無事見送りをしてまいりました。

## 幹 事 報 告 斎藤広巳幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

## 理事会報告

1. 常総市被災地の子供たちの受け入れについて  
古河ロータリークラブとのマッチング・グラントの利用
2. 納涼会(9月17日(土))の振替日  
9月21日(水)
3. グランドゴルフ大会(常総地区)協賛について  
例年通り 5万円

.....承認されました.....

## 会 長 挨 拶 大塚令昌会長



皆様、立秋とはいえ暑い日が続いております。熱中症にご注意下さい。

8月7日のオーストラリア夏期交換学生の出発見送りに、国際奉仕委員長有り難うございました。17日帰国日もよろしく願申し上げます。

この度、RI2820地区マッチング・グラント活動費として、国際ロータリー日本本事務局より戴きました活動費の一部を戴きまして、茨城県及び各筑波市・下妻市・常総市が立ち上げました、東日本震災地「子供たちに元気と希望を取り戻す体験学習」東日本大震災からの復興に向け心のケアとしての事業の受け入れに協賛する事となりました。

日 時 第1回目 8月18日(木)19日(金)

第2回目 9月3日(土)4日(日)花火大会

の二回にわたり水海道ロータリークラブ、古河ロータリークラブ協賛といたしまして支援することとなりました。内容は食糧及び水の支援です。常総市の支援は、宮城県亘理町立中浜小学校(3-6年生)保護者、先生、総計244名 他関係者宿泊となっております。あすなろの里77名、神社167名となり、あすなろの里でバーベキュー、夕食後神社に一泊、次の朝ディズニーランド、一日遊んだあと14時30分出発シタ方宮城到着となります。

## 8月は会員増強および拡大月間です

### THE WEEKLY REPORT

#### 会員卓話

##### 鈴木邦彦会員



世間には、団体、クラブ等多くの繋がりがあるが、それに集う人数が多いほど、集まりが盛り上がり成果を挙げます。

職業倫理を重んずる職業人の集まりである、ロータリークラブもまた全く例外ではない。多数の会員が例会に出席し、何らかの満足感を得、友情を深め、親睦の喜びは奉仕のエネルギーにつながり、ロータリーのメッセージを社会に広めることが出来ると思う。

2回にわたり、ロータリー歴の古い先輩会員に卓話をお願いし、入会当時のエピソードをお願いしました。当クラブは、1963年(昭和38年)9月25日、仮クラブとして発足、1964年(昭和39年)1月28日、国際ロータリーに加盟承認となる。会員数は34名。

##### 隅屋祐三会員



先日、認知症の検査をしてきたけれど、大丈夫でした。

最初に幹事を引き受けた時に、3カ月を過ぎたころから書類がまわってこなくなり、ロータリーを全く覚えられなかった。会長のときは、事情により2年半やったけれど、幹事が北村さんで「字がまずいのはいいけれど、読めない」と言われ、確かに今書いてあるメモも読めない。

分区代理を受けた時、最後にガバナーが「隅屋さんは一年間全然ガバナーの話をしなかった」と言われ、もっと早く言ってくれればいいのと思った。

メイキャップに岩井RCへ行った時は、時間が余ると卓話をお願いされるが、ロータリーの話は3分くらいしか出来ないの、ヌード村に行った時の話をすると、次に行った時もまたその続きが聞きたいと言われた。最後にツウンバとの友好関係を結びに行った時も、2年間お世話をした「アン」から単語一つだけでと助言されたけど、英語が話せなくても大丈夫。でも、オーストラリアへ行った子供たちの母親からは感謝された。全然英語の勉強をしなかったのに、夢中でやり始めた。今では色々と違うかもしれないが、もっとザックバランに続けて欲しい。

##### 青木全弘会員



私がロータリークラブに入会させて頂いたのは、1972年12月(S.47年)です。それ以前にも一度、お誘い頂いた事がありました。当クラブ創立の時、当時の常陽銀行の支店長様より、お声を掛けて頂きましたが、その頃の私には、ロータリークラブは、社会経験が豊かな見識者の集まりとのイメージがありましたので、若年の私にはまだ相応しくないのではないかとの思いから、入会を躊躇致しました。

実は、私が初めてロータリークラブという会があることを知ったのは、S.20年代の後半でした。当時、私は宇都宮に居り、私の勤めていたところの社長さんがロータリアンでした。新聞社の社長、病院の院長先生、デパートの社長などがメンバーであることも聞いておりました。皆、品の良い紳士達であり、私などとはかけ離れた存在でした。

それから、十年余り経ち、当クラブの創立の時にお誘いを受けることになったわけですが、宇都宮のロータリアンの方たちの印象が強く残っていた私には、まだ、自分には遠い存在という感じがあったように思います。

入会して初めて例会に出席した時は、大変緊張致しました。しかし、近所の方や、毎月のゴルフ会で一緒の方が数人、ロータリーのメンバーでしたので、間もなくなる事が出来ました。

## 8月は会員増強および拡大月間です

### THE WEEKLY REPORT

ロータリーには、「4大奉仕」がありますが、職業奉仕という言葉にひかれました。私は、小売業を営んでおり、業界のセミナーなどでも、「商売とはお客様のためにあるべきだ」ということを、常々学んでおりましたので、何か通じるものがあるようでロータリーの「職業奉仕」という言葉には、特に魅力を感じました。

また、例会には、よく他クラブからのメイキャップがありました。お客様紹介の時の、名前を呼ばれると右手を高く掲げ「イヤ」という返事や、誰々会員というメンバーであることを意識させる呼び方は、入会当初の私には、とてもインパクトがありました。

入会の翌年、当クラブ創立10周年の祝賀式典が市民会館で挙行され、駅前には時計塔が寄贈されました。

1977年度には、東京で国際大会が開かれました。世界各国から多くのロータリアンが神宮外苑の会場に集い、会場内は熱気に包まれました。私も参加させて頂きましたが、ロータリーの世界的な絆に感動致しました。

1978年度には、国際ロータリー創立75周年の行事が実施され、水海道市役所前の広場に戸樫 一先生作の「和」をシンボライズしたモニュメントが寄贈されました。保健・飢餓追放および人間尊重の3Hプログラムもこの年度から始まりました。例会はもとより、大きな節目となる行事に参加することにより、ロータリー活動は、私の生活の一部になっていったように思われます。

毎年のように、会長方針にも「会員増強」が挙げられています。私の入会直後の会長方針にもありましたが、これは重要なテーマの一つだと思えます。会員増強において、入会者を増やす事と同様に大事なことは、退会の防止だったように思えます。退会者の多くはロータリー暦が比較的浅い方だったように思います。事情は色々あるとは思いますが、ロータリーへの意識を深めることも退会を防ぐことに繋がるのではないかと思います。

私自身は、毎例会に出席することのほか、自分が主となってロータリークラブの仕事ほした事や、大きな会合に出席したことで次第にロータリアンとしての意識が出来てきたように思います。また、ホームステイのホストを引き受けた時は、私以上に家族がロータリーへの親好を感じたようでした。

ロータリークラブに入会し、毎週昼食時に集い、異業種の方と交流したり、色々な方面の専門家の卓話を伺ったりすることは、私にとって大いに社会勉強になっていると思います。ロータリアンである事は私の無形の財産であると思っています。

#### 北村 仁会員



如何なる組織であれ会員の増強は、常に念頭に置かねばならない課題であります。私の所属いたしております、商工会も新会員の募集、退会防止が重要な案件で常に手を緩めず活動しております。

ロータリーには、職業奉仕と社会奉仕の大きな奉仕プロジェクトがあります、前者は人、後者は社会であります。

ロータリーに入会し、多くの人々と知り合いになる事が出来ました。色々な事を学ぶ機会を得て人生も大きく変わったことと思えます、ロータリーより大変多くの恩恵を頂きました、こうした機会を他の人々に提供することは責務であります。

ロータリーには、素晴らしい奉仕プロジェクトが数多くあります。世界中で私達の奉仕を待ち望んでいる人々がたくさんおられます。「世界で良いことをしよう」これ等の活動を完遂するためには、一人でも多くの同士を募ってより大きな奉仕活動をする事が求められています。

特に退会の防止には、私達は最大の関心を払わなければなりません。入会3年以内の会員が会を去っていくことは誠に残念です。私が入会させて頂いた頃は会員も30数名と数も少なく誠に家族的な雰囲気であり、全ての会員が身近に感じられ色々な話をする機会も多くありました。現在は50名になろうとする会員中では、中々そうもいかないのが実情かもしれません。一刻もはやくロータリーの良さを実感し、共に



## 8月は会員増強および拡大月間です

### THE WEEKLY REPORT

奉仕活動を行う事が出来るよう既存会員の一人ひとりが最大の関心を持たなければならないと思います。

ロータリーの良さは、親睦にあると言われます、この親睦はロータリーが基盤となった親睦でなければなりません。例会や奉仕活動を通して優れた異業種の人々とお互いに影響しあいながら、自らの職業の品位を高め、効果的な魅了あるクラブづくりに邁進したいと思います。

2013年規定審議会への立法案のいくつかを紹介します。

1. 地区合併に対して、1200名以下のところはRI理事会が合併再編の強制力を持つ
2. RIへの人頭分担金支払いは、クラブで会員が20名未満でも20名分とする
3. クラブ会員は、60%の例会出席を緩めてもよい
4. クラブ会員の定義をより簡単にする
5. 入会の職業分類の制限はゆるめられるが、会員間の職業分類のバランスは推奨される
6. 法人会員、準会員や衛星クラブを認める
7. ガバナー/ミニの選挙はクラブによる郵便投票とする
8. ガバナーの任務は地区の執行委員長の立場とする。クラブ訪問はガバナー補佐や他のリーダーが行ってよい
9. RIの常任委員会のインターアクトとローターアクトを合わせて新世代委員会とする

\* 2009-11年度黒田正宏RI理事からの「過去2年間のRI理事としてのお礼と資料」より抜粋

#### 出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メイク	出席率
56名	40名	16名	0名	16名	100.00%

#### ニコニコボックス 鈴木勝久委員長

入金計 ¥13,000 累計 ¥402,000

隅屋会員、北村会員、青木会員、本日の会員卓話宜しくお願い申し上げます。 齋藤会員  
大塚会長・齋藤幹事・二本松委員長、ツウンバ送りだしお世話になりました。 松崎会員  
納涼会参加費、ご協力ありがとうございます。 山牟田会員  
皆様、暑さに負けないよう気をつけて下さい。 田上会員  
例会欠席しました。頑張ります。 山野井会員  
例会欠席しました。 古矢会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

石塚幸一郎委員

#### ロータリーのメッセージを広める

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん

インドにはこんな古い言い伝えがあります。「あなたが隣人の舟が川を渡るのを助けた時、自らも向こう岸に着いたことに気づく」。すなわち、「他人を助けることによって、私たちはしばしば自分自身も助けられていることに気がつく」ということです。

## 8月は会員増強および拡大月間です

### THE WEEKLY REPORT

#### 公共イメージと会員増強の密接なつながり

私たちのおのおのが、奉仕をするためにロータリーに集い、友情や親睦の喜びと満足感を見たいです。8月は会員増強および拡大月間で、私たちはロータリーのメッセージを広めることに焦点を当てています。ロータリーの光を古い言い伝えの下に隠すことなく、よく奉仕することによって「より力強く活気あふれる次世代のためのロータリー」という私たちの目標に近づくことに気づきます。

公共イメージと会員増強は密接につながっています。知的で、教養があり、ロータリーに参加してしかるべきはずの多くの人々が、ロータリーがどのようなものであるのか知りません。この点こそが、私たちが正面から取り組む必要があることなのです。ロータリークラブが数多くの素晴らしい活動を行っているにもかかわらず、地域社会において、ほとんどの人はこうしたクラブの存在にすら気づいていないという話を、私たちは何度となく耳にしています。このことは私たちの組織が進むべき方向ではありません。

#### 新しいツールを駆使する

よい奉仕活動、それは欠かすことのできない第一歩です。しかしながら、それは単なる始まりにすぎません。私たちは利用できる限りのツールを駆使して、私たちのプロフィールを向上させなければなりません。現在は、かつてとは比べものにならないくらい数多くのツールがあります。私たちはツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアも利用しなければなりません。そして、クラブはオンライン上での存在感を示さなければなりません。ウェブサイトを持つだけでは十分ではありません。常に情報が更新され、一般の人々の興味を引き、自分たちが現在行っている活動を反映しているものでなければなりません。そして、会員候補者がいったん私たちの活動について知り、興味を持ったなら、それらの人々が次のステップに進むための道筋を提供するものでなくてはなりません。

#### 奉仕には時間が必要

ロータリーは提供できる多くのものを持っています。一般の人々に自分たちの組織が素晴らしい組織であることを知らせ、ロータリーを自らの暮らしにどのように融和することができるかを人々に示すのは、私たち自身にかかっています。奉仕活動には時間が必要です。そして今日、その時間は、誰もが十分に持っているわけではありません。ですから私たちはロータリーとともに過ごす全ての時間には価値があり、報われるもので、決して無駄なものではないことを保証する必要があります。

私たち自身と私たちのクラブに手を差し伸べる時、私たちが有能で、その力を活用する術を学んだ時、私たちはこれまでにないくらい地域社会を向上させ、同時にロータリーそのものも向上させているのです。

KALYAN BANERJEE  
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2011 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press **ロータリーの友**

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956  
email hensyu@rotary-no-tomo.jp